

産学官で開発した保護帽子「アボネット」が北電の検針スタッフ用の帽子に採用されたことについて

札幌市が進めている「福祉用具のデザイン開発 研究プロジェクト」で開発・商品化した積雪寒冷地対応の帽子が評価され、このたび北海道電力(株)の検針スタッフの安全帽子として採用されることになりました。

1 採用のきっかけ

北海道電力(株)では、特に冬期間の検針業務時に起きる雪道での転倒などによるケガを危惧していました。そこで、より安全で安心なユニフォームの導入を考えていたところ、札幌市経済局と市立高等専門学校と日本福祉用具供給協会北海道支部との連携により商品化した「アボネット」を知り、同社の安全帽子として使えないかを検討し、このたび採用することになりました。

2 どんな帽子



- ・ 頭部の衝撃を和らげる機能を有するもの
- ・ オールシーズン使用可能
- ・ 男女兼用
- ・ 色はウエアーに合わせ紺色
- ・ サイズは 54～64cm の 6 サイズ
- ・ デザイン～写真参照

3 発注数など

発注数は 1,050 個で、全道 10 支店(札幌 旭川 北見 岩見沢 小樽 釧路 帯広 室蘭 苫小牧 函館)を拠点として配置されている検針業務等に携わっているスタッフ(2003.12 末現在 975 人)全員が、2月下旬から着用する予定です。

4 札幌市としては

産学官プロジェクト活動が開発で終わることなく、具体的な商品としてエンドユーザーの手に届き、今回のように社員スタッフのユニフォームとして発展していったことは、大きな成果であると同時に、積雪寒冷という地域特性を生かしたものづくりの可能性は明るいと考えています。

5 福祉用具のデザイン開発 研究プロジェクトの概要

別紙のとおり

問い合わせ

経済局産業開発課 新産業推進担当

高橋 向瀬

211 - 2372

北海道電力株式会社 営業業務グループ

新沼 小原

251 - 4346

福祉用具のデザイン開発 研究プロジェクトの概要

主な活動実績

- 2000.10 プロジェクト立ち上げ
 - ・ " 札幌発信のユニバーサルデザインの「保護帽子」の開発に着手
- 2001.10 国際福祉機器展に参考出展
 - ・ " 第二弾として「シルバーカート」の開発開始
- 2002.2 さっぽろ雪まつり会場で展示イベント「はっとストリート」開催
 - ・ " 北方都市市長会議へ出展
- 2002.3 実用新案取得
- 2002.7 「アボネット」で商標登録
- 2002.8 プロジェクト開発第一号として販売開始
- 2002.11 身体障害者福祉法に基づく補装具として認定
- 2002.12 本庁ロビー展示開催
 - ・ " ミュンヘンクリスマス市に出展
- 2003.1 北の生活産業デザインコンペ(北海道主催)で大賞を受賞
- 2003.9 日本グッドデザイン賞(経済産業省主催)受賞
- 2004.10 高齢者用歩行器の商品化・販売予定

メンバー構成

産

- ・ 日本福祉用具供給協会北海道支部 ほか(毛利智之・池田啓子・藤本欣也・石永 勉)
- ・ 札幌木工組合(戸川 順治)

学

- ・ 北海学園大学大学院(黒田重雄)
- ・ 札幌市立高等専門学校(大萱昭芳・三木弘和・大島康彰・森田敏明)

官

- ・ 経済局 保健福祉局